

お役立ち情報

フカボリ!

このコーナーでは、皆さまのお役に立つタイムリーな情報を、深掘りしてお届けします。

今回は運送事業者の皆さまに向けて「**高速道路の深夜割引の見直し**」をフカボリ!

01

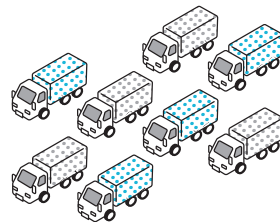
現行の高速道路の深夜割引の目的って?



環境対策として一般道の沿道環境を改善することです。深夜に一般道を利用する車を高速道路への利用にシフトさせる目的で、深夜割引が導入されています。現在はETC利用で、0時～4時の間(割引適用時間帯)に少しでもかかれば、すべての走行分が3割引きとなります。

02

深夜割引を見直しの理由って何?



現行の割引制度を利用しようと、適用時間まで多くの車両が料金所出口手前やSA・PAで待機するため大渋滞を起こしているほか、拘束時間の長時間化によりドライバーの労働環境の悪化にもつながっています。

これらの課題解消に向けて、割引適用時間帯の拡大や適用時間帯の走行分のみを3割引きするなどの見直しが、2024年度末頃に行われる予定です。

03

深夜割引見直しのポイントとは?

深夜割引の見直しによる主な変更点は以下になります。



- ①適用時間帯の見直し → **22～5時(3時間拡大)**
- ②深夜割引対象の見直し → **走行距離分だけ**
- ③長距離通減制^{ていげん}拡充 → **400km超の利用料金引き下げ**

① 割引の適用時間帯

割引の適用時間帯が、現行の4時間から7時間に拡大されます。

〈現行〉
0～4時まで
(適用時間: 4時間)



〈見直し〉
22～5時まで
合計3時間延長
(適用時間: 7時間)



② 深夜割引の対象

深夜割引の対象は、適用時間帯の走行距離分だけ。適用時間帯の拡大により、これまで割引適用がなかった主に近・中距離の運行が新たに割引の対象となり、より幅広く深夜割引が適用されます。

〈現行〉
割引適用時間帯(0時～4時)を少しでも走行すれば、**全ての**走行距離分が割引

〈見直し〉
割引適用時間帯(22時～5時)の走行距離分のみ割引

激変緩和措置として(5年めど)、1,000kmを超える長距離運行に対しては、**1,000km超利用分は割引対象走行分に加算**。同措置に伴い、拡大する時間帯のうち22時台に高速道路を降りた場合、深夜割引の割引率を3割から**2割に縮小**。

③ 長距離通減制^{ていげん}の拡充

深夜割引の見直しに合わせて長距離通減制を拡充し、すべての時間帯で400kmを超えると利用料金が下がります。

〈現行〉
100km超～200km以下 **25%引き**
200km超 **30%引き**

〈見直し〉
100km超～200km以下 **25%引き**
200km超～400km以下 **30%引き**
400km超～600km以下 40%引き
600km超～800km以下 45%引き
800km超 50%引き

*赤字は拡充部分

深夜割引の見直しにより、本線料金所やSA・PAにおける深夜割引適用待ちの車両滞留の改善などドライバーの負担軽減が期待されます。

見直しによる利用料金の比較など詳しくはこちら

深夜割引見直しの基礎知識

🔍 検索